

120年の軌跡

6

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

昭和29～34年



◀宇都宮市役所庁舎の落成
市庁舎は昭和20年（1945年）7月の戦災で焼失。その後、昭和29年10月、本町の県庁前（現在の県総合文化センター）に移されました。鉄筋コンクリート3階、一部地下1階、総工費1億9600万円でした。

1959	1958	1957	1956	1955	1954	西暦
34	33	32	31	30	29	年
▼市水道庁舎完工 ▼大谷磨崖仏が特別史跡に指定される ▼平石村、清原村、横川村、瑞穂野村、城山村、豊郷村、国本村、富屋村の全村と篠井村の一部が市に編入、それぞれに支所、公民館を置く ▼市庁舎完成、市役所を本町に移す ▼市庁舎落成および町村合併記念祝賀式を挙行	▼救急車を初めて配置 ▼大通り拡張工事完成（期間8年、工費1億7200万円） ▼宇都宮～上野間の鉄道電力化が完成開通 ▼市制60周年記念祭 昭和31年11月17日、記念式典の後、宇都宮市歌、宇都宮音頭など、歌と踊りの発表が行われました。	▼宇都宮～東京間即時通話が開始 ▼市下水道工事が開始	▼市制施行60周年記念祭を開催 ▼大谷平和観音開眼式を行う	▼雀宮町と姿川村が市に編入、それぞれに支所、公民館を置く		昭和



宇都宮市年表